

令和3年 第19回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和3年12月16日

仙北市教育委員会

令和3年 第19回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和3年12月16日（木） 午後2時

2 場 所 西木総合開発センター 2階 農林研修室

3 出席委員

| | |
|----------|--------|
| 教育長 | 須田 喬 |
| 教育長職務代理者 | 坂本 佐穂 |
| 委員 | 橋本 勲 |
| 委員 | 細川 伸也 |
| 委員 | 田口 桂一郎 |

4 出席した事務局職員

| | |
|----------------|--------|
| 教育部長 | 藤原 眞栄 |
| 教育次長兼学校教育課長 | 鈴木 徹 |
| 教育次長兼角館公民館長 | 佐々木 信介 |
| 教育総務課長 | 湯澤 満 |
| 学校教育課参事 | 田口 真吾 |
| 北浦教育文化研究所長 | 伊藤 昭光 |
| 総合給食センター所長 | 草彅 直子 |
| 生涯学習課長 | 武藤 寛幸 |
| 中央公民館長 | 高橋 良宣 |
| 田沢湖公民館長 | 真崎 智明 |
| 市民会館長兼田沢湖図書館長 | 信田 昌史 |
| 学習資料館・イベント交流館長 | 松橋 幸太郎 |
| 平福記念美術館長 | 小松 亜希子 |

5 議事

(1) 議案審議

議案第22号 仙北市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について

(2) 報告事項

報告第25号 仙北市議会定例会一般質問について

報告第26号 就学指定校変更の承認について

6 審議の経過及び結果

(須田教育長)

ただいまから、令和3年第19回仙北市教育委員会12月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には齋藤係長と泉主事を任命いたします。署名員については、私と委員からは坂本教育長職務代理者を指名します。前回会議録の承認についてですが、定例会終了後、橋本委員におかれましては、署名をいただきますのでよろしくお願いいたします。

まずもって、田口委員におかれましては、復帰おめでとうございます。何卒、無理なさらず教育委員会のお仕事をしていただければと思います。本日は、私の方からは4点報告させていただきます。

1点目が、安部前教育委員さんと熊谷前教育長の地方教育行政功労賞受賞についてです。12月10日に栗谷川南教育事務所仙北出張所長がお見えになり、お渡しくださいました。本県では、5人受賞したそうですが、一度に同じ市町村から2人も受賞することはないそうです。事務局が頑張ったからだと思います。お二人とも本当に喜んでおりました。

2点目が、今週の火曜日に行われた西明寺小と桜木内小のオンラインによる児童会活動交流についてです。橋本委員から学校間のリモート授業や交流をたくさん行い、小規模校のデメリットを解消してほしいという提案がありました。今年度は、美術の授業や西明寺中と桜木内中のリモートによる合同講演会などを実施してきましたが、今回の取り組みも大変よい交流でした。その後、桜木内小の校長先生に、角館小ともやってみたらどうかと提案したところ、是非やりたいということで、22日に行くそうです。桜木内小学校では、非常にモチベーションが上がったという話も聞いております。来年度は、桜木内中学校と各中学校との交流を行う予定です。

3点目が、北浦教育文化研究所による授業演示についてです。各学校においては、児童生徒一人一人に渡されているモバイルをどう活用していくかが大きな課題となっております。そこで、それなら北浦教育文化研究所自らが学級を借りて授業を行い、提案してみよう、それが一番効果的だろうと判断しました。当日は、伊藤所長が西明寺小5年生で理科を武藤指導主事が西明寺中2年生の数学を模範演示しました。指導主事が学級を借りて授業を見せるということはありませんが、率先垂範として演示しました。市内からたくさんの先生方に参加いただき大変よい研修になったと思います。この夏には、鈴木次長が神代小学校で安全指導ということで体育の授業をしましたが、来年度も指導主事による授業を展開し、実践的な北浦教育文化研究所を目指していくつもりです。

4点目が、本日の議案第22号にあります、仙北市教育委員会の事務に関する点検、評価についてです。11月25日に3人の方から評価を受けております。この後詳細については湯澤課長から説明がありますが、皆様からご意見をいただいた後に公表するつもりです。

最後になりますが、1月8、9日の成人式の参加、よろしくお願いいたします。また、今年度は卒業式にも案内がいくと思いますが、出席のほどよろしくお願いいたします。なお、当日の祝辞はなしとなっております。また、一人一校の割り振りですので、当日は校長の横の席を用意しますので設置者代表として来賓や保護者をお迎えいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

次に教育長の報告についてであります。

－資料により報告－

ただいまの報告について、ご質問等ありませんか。

－質問なし－

それでは、議事に入ります。議案審議、議案第22号仙北市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書についてであります。事務局、お願いします。

(湯澤教育総務課長)

それでは、議案第22号「仙北市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について」説明いたします。議案綴りの1ページと別冊の報告書案をご覧ください。報告書の1ペー

ジをご覧ください。

はじめに、1の「点検・評価の趣旨」についてですが、この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の事務の管理執行状況の点検・評価を行い、その結果を報告書としてとりまとめ、議会に提出するとともに、公表することになっているものでございます。次に、2の「点検・評価の実施」についてです。点検・評価の対象とした事務事業は、2ページ上部に記載のとおり、各課・機関が令和2年度に実施した主要な事業、6事業であります。次に、1ページの3「点検・評価の方法」につきましても、選定した6事業ごとに、各課・機関が「事務事業評価シート」を作成して第一次点検評価を行うとともに、外部評価委員から意見をいただいた上で、総合的な点検・評価を行いました。2ページをご覧ください。外部評価委員には、5に記載のとおり、仙北市社会教育委員長の佐藤正美さん、角館町平福記念美術館運営審議会委員長の米澤鐵夫さん、仙北市小中学校長会会長の三浦政喜さんに委員をお願いしました。次に、3ページから6ページにかけては、各事業の一次評価、二次評価、外部評価委員の意見について記載しています。評価委員会は、11月25日に開催しました。評価委員会では、6ページの後にあります、事務事業評価シートに基づき、事業の実施内容、推移、成果、一次評価、判定に至った経緯等について説明した後、評価委員から確認や質問をしていただきました。一次評価、二次評価の結果につきましては、全てについてA評価、現状のまま継続実施となっております。点検評価の結果につきましては、今後の施策その他事務事業の改善等に活用していきます。説明は以上となりますが、今年度の「仙北市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書」としてご承認いただきますよう、よろしくご審議のほどお願いいたします。

(須田教育長)

少し読んでいただきまして、ご意見を伺いたいと思います。

まず方法等について、何かご質問ありますか。

－質問なし－

それでは、3ページ「仙北市学校施設長寿命化計画策定事業費」について、そこに一次評価、二次評価ともにAということで、二次評価の意見がありますが、これにつきまして付け足しであったり、ご意見がある委員はいらっしゃいますか。

－意見なし－

この前の会議では、少子化とともに学校の劣化が激しいという話をしたところ、やはり子どもの数がこれだけ減っているという状況については、市民は知らないだろうと。速やかに周知してほしいというご意見がありました。

(橋本委員)

今まで学校施設の長寿命化計画というものがなかったので、ここに記載されていますけれども、具体的かつ客観的に示されたということで、今後の小中学校のあり方を検討する意味で貴重なデータになるという意見があります。点検、見直しを行いながら、学校のあり方について考えていくときの重要な資料にしていただければと思います。

(須田教育長)

ありがとうございます。

何かこのことについて、鈴木次長ありますか。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

これを基にしながら、この後学校または保護者の方にも、それから来年を通して、その下の園の保護者等にも周知させていきたいと思います。

(須田教育長)

2番目の「キャリア教育・ふるさと学習支援事業費」については何かご意見ご質問はあ

りますか。

(田口委員)

2の2ページが一番上に、これまでどのような活動が行われてきたか、概要が簡単に紹介されておりますけれども、各地域や学校の特色に応じた素晴らしい活動が予算によって展開されているということで、キャリア・ふるさとに関わる大きな成果を上げているように感じています。学校現場としては非常に有り難い財源であるということ、ある程度の自由がきく予算の使い方ができるということで、非常に有り難い事業であると感じております。いくら財源があっても足りないわけですが、最大限に活用していただければ有り難いと思います。大きな成果を上げている事業ですので、今後も継続して予算についても配慮をお願いしたいと思います。

あとは、これは北浦教育文化研究所にお願いですけれども、主に総合的な学習あるいは学校行事等を使って、こうした授業が展開されていると思いますけれども、財政的な支援があっても、やはり体験的な学習が後に残る、そしてふるさとへの愛情やキャリア教育に結びつくためには、しっかりとした事前学習、事後学習というのが大切になると思います。いわゆるソフト面の充実、授業内容、学習内容、体験内容が充実することが最も大事だと思いますので、行って終わりとか、体験して終わりではなくて、前後の指導も含めて、しっかりとした学習につながるよう子どもたちの心に残る、頭に残る学習になるように工夫していただくよう、ソフト面の充実もよろしくをお願いしたいと思います。

(須田教育長)

何か伊藤所長からありますか。

(伊藤北浦教育文化研究所長)

ポートフォリオ等活動の記録を取りながら、振り返られるような運用をしていきたいと思っています。ありがとうございました。

(須田教育長)

4ページ、「仙北市学校教育バックアップ事業費」について何かありますか。

(田口委員)

この事業もかなり長い期間、実施している事業だと思います。年間にすると延べ人数はどのくらいになりますか。500人近いという記録はあるのですが、だいたいその人数ですか。

(伊藤北浦教育文化研究所長)

はい。

(田口委員)

それだけ仙北市の各小中学校に地域の方が出かけて活動してくださっていると、これはボランティア事業だけに関わっている人ですので、実際は行政やあるいは関係機関の方々だとか、それ以外の様々な機関と連携で行っている地域学習もあろうかと思えます。ですから、これ以上に実施されているということで、非常にいい取組だなど、学校でも有り難い事業だなどということで、取り組んでいると思います。限られた予算の中で延べ500人、一人あたり1回500円、交通費くらいの支給にしかなくなっていないということになりますけれども、地域の皆さんが本当にボランティアで来てくださり、額面に対しての苦情等が一切ない訳ですが、財源の厳しい中でこれからますます地域と一体となった、地域の人材を活用した事業に参加、協力、チーム学校としての地域参加、ますます盛んになるわけですので、そうした事情でなかなか一人一人には還元できないのですけれども、本当にボランティアの意識で参加してくださる地域の方々には有り難いなと思ってこの事業を見ていたところであります。財源的なこともあるので、難しいと思いますが、充実させる方向でこの事業を継続していただければと思います。以上です。

(須田教育長)

4番「給食センター管理運営費」について何かご質問、ご意見ありますか。

(橋本委員)

意見ではなく、お願いになるかと思えますけれども、二次評価の意見で、児童生徒数の減少に伴って、もしかすれば栄養教諭の配置が減らされるのではないかと心配されているというのがあったかと思えます。児童生徒が減っても小学校1名、中学校1名の栄養教諭の配置というのは、この後も維持できるようによろしくお願いしたいと思います。

(須田教育長)

その件について、部長お願いします。

(藤原教育部長)

栄養教諭については、前々から教育長と話をしておりました。最悪のパターンであると来年4月から一人加配がなくなるという話になりますけれども、最悪の状態になったとしても、対応できるように準備は進めていますので、ご安心いただきたいと思えます。

(須田教育長)

5ページ、「学校図書館支援事業費」です。

補足しますと、先日西明寺中学校に行きましたところ、九嶋元校長が、今講師として任用していますけれども、大仙も美郷もこの事業はなくて、国語の先生ですので、支援員が配置されて嬉しいという話をしておりました。私も各学校を回って、図書室、図書館を見て回りますと、使いやすく本を読みたいなという感じになっている図書館、図書室があります。どこの校長たちもこの事業については、本当に嬉しいというか素晴らしいという話でした。これについては、頑張っって今後も予算をつけていきたいと思っているところでもあります。何かこれについても、ご意見やご質問ありますか。

(田口委員)

本当に有り難い支援員の方々に、創意工夫をして図書館作りをしてくださるし、魅力ある図書の紹介もしてくださって、本当に有り難い事業だなと思っております。最終的には文科の方針もあるかと思えますけれども、各学校に学校司書を置くということが最終目的だと思います。市単独でそうした事業をやるというのは、なかなか難しいとは思いますが、由利本荘市では、市単独の事業になります。すでに学校司書を置いている。そうした市の取組も参考にしながら現状維持はもちろんですけれども、ますます学校図書の充実を図らなければならない分野だと思いますので、最終的には学校司書の配置ということを県教委、文科省への要望のほか、市としても検討していただければありがたいと思えます。

(須田教育長)

これについては、次年度の県教委の要望のところに田口委員の内容を入れていただきたいと思えます。次長、よろしくお願いします。

最後、6「常設・企画展示費」についてですが、ご意見ご質問がある委員はいらっしゃいますか。

(田口委員)

コロナで観光客が激減ということですが、入館人数も激減していますか。

(小松平福記念美術館長)

昨年は、コロナ禍で入館者どなたからも入館料をいただかないという形をとったのが功を奏したのか、逆に増加となりました。今年度はコロナ禍ではありますが、通常の開館ということで、一般の方からは有料という形で開催していましたので、やっぱりお客様の入りは減りました。緊急事態宣言のこともありまして、お客様でも遠方から来られて外でそういった「緊急事態宣言の地域から来られた方はお控えください」というような表示をしましたので、そういった影響もありまして、今年度に関しては、入館者は減っております。

(田口委員)

素晴らしい企画展示を見ていただく方が少ないというのは、非常に残念なことだと思います。地元の小中学校の学年学級単位で来るというケースはありましたか。

(小松平福記念美術館長)

今年度はありました。角館小学校の3年生だったと思います。

(田口委員)

各学校のフィールドワークで市内を回る学年が必ずあります。そういう機会にせっかく地元でいい企画があれば、小学校中学校、発達段階に応じた企画展示があろうかと思えますけれども、それに見合った企画展示があれば、ぜひそういった機会に紹介していただいてフィールドワークの際にちょっと寄ってもらって、しっかりしたものを見ていただくという機会があってもいいかなと思います。自分が学校現場にいたときは、なかなか難しかったんですけども、後になって考えると、貴重な教育の場であるなど思っておりますので、ぜひ進めていただければと思います。以上です。

(須田教育長)

その他ありますか。

－意見なし－

(須田教育長)

そうしますと、今の委員の意見等をどのような形で反映するかについては、事務局の方で話しますけれども、今の内容等も含めたものを、議会の方に提出するというところでよろしいでしょうか。

－異議なし－

議案第22号、仙北市教育委員会事務に関する点検・評価報告書について別紙の通り提出するという事で承認いただきました。ありがとうございました。

次に報告事項に入ります。報告第25号仙北市議会定例会一般質問についてお願いします。

(藤原教育部長)

私の方から報告させていただきます。明日閉会になりますけれども、今年最後の議会が開かれております。その中で一般質問、平岡議員と高橋議員、2名の方から学校関係の質問が出されております。議案書の3ページに平岡議員の質問を記載してございます。概略を申し上げますと、県条例で自転車の保険加入が義務化されることによる小中学校の対応はどうなっているのかという趣旨のご質問でございました。教育長の方からご質問に対して答弁をさせていただいております。まだ、周知が徹底していない部分については、これからチラシ等を配って周知をしますと。これは保険加入が義務化になるということについてのPRということになります。事故発生時の対応についてどうなっているのかということですが、学校毎に法律で定められた危機対応マニュアルがございますので、それに沿って対応していますというご報告をさせていただきます。

最後に保険についてですが、今回いろんな側面から私たちの方でも調べさせていただきました。当然学校の中での事故等については、保障の保険に入っているわけですが、その他、学校の管轄外の部分での事故等について、PTAの方で加入している保険でほぼカバーできていると、いわゆる全ての事象において保険でカバーできる状態に現在仙北市の学校はなっていますという報告をさせていただきます。ただ、それに加えて家族、家庭で追加して加入していただくのは、やぶさかでないので、さらに入る方はどうぞお願いしますということでお話をさせていただきました。

次に5ページですけれども、高橋輝彦議員からのご質問です。これは学校適正配置についてですけれども、白岩小学校の説明会がまだ開催されていないというご質問でした。そ

れと、現状の白岩小学校の雨漏りがひどいので解消してほしいというような趣旨の質問でした。

1点目の適正配置については、これまで教育委員の方々にご説明申し上げておりますけれども、白岩小学校だけの問題ではないというところをご説明してございます。何度か議会でも、教育長が発言していましたが、再度そういう内容をご説明申し上げました。白岩小学校だけでなく、市全体を見渡した上で本当に子ども達にいい教育環境をどうやって提供していくかというところをこれからじっくりと地元の人たちとも話をしながら決めていきますということをご説明申し上げました。

それから雨漏りについてですけれども、白岩小学校についてはご存じのとおりというか、学校訪問でご覧になったかと思っておりますけれども、構造が雪国使用ではないような天窓が付いているというか、天井がガラスになっているというような特殊な構造になっていて、おそらくそこから漏れているのではないかと思います。早急に原因を調査しましたが、雪が付いてしまっているのが、現状の工事というのは不可能ですけれども、春に雪消えを待って早めに対応しますということで答弁申し上げます。以上、報告です。

(須田教育長)

何かご質問ご意見がある委員はいらっしゃいますか。

(橋本委員)

自転車の事故についてですけれども、登下校時以外の自分で遊んでいる時などで児童生徒が加害者になった場合も学校で入っている保険でカバーできるのでしょうか。

(藤原教育部長)

学校というよりもPTAの方で、団体で入っている保険なんです。PTA活動の中で物事が起きた時という意味での保険なんですけれども、かなり幅広い事象に対応しております。登下校も実は学校の範囲外になります。我々の場合、通勤の部分も保険の対応になるんですけれども、学校の場合は通学のときは学校の保険の対応にならなくて、それはPTAの保険で対応するというので、かなり幅広くカバーされていますので、安心だと思います。

(須田教育長)

補足しますと、被害に遭ったときは学校の安全会が出るんですけれども、加害者の場合は出ないということでした。それで、加害者になった場合どうするかというと、先程から部長が話しているPTA安全互助会の保障で出ると。遊んでいる時もこれから出るということで100%仙北市の小中学生はカバーできています。

(橋本委員)

分かりました。

(須田教育長)

その他ありますか。

(坂本教育長職務代理者)

聞き逃しかもしれませんが、白岩小学校の雨漏りに関しては、この冬は大丈夫な程度の修繕はされているということでしょうか。

(藤原教育部長)

応急措置をとれない状態にあります。例えば、シートをかぶせただけでいいのかというと、そうではなくて、今東公民館の体育館については、台風が来たときのようにブルーシートを掛ける手立てを取りましたけれども、構造上切れやすいシートをかぶせても、コーキングもできない。というのは、気温が下がってしまい、コーキングもできない状況なので、今の段階では手立てがない状況です。報告があったのが、本当にぎりぎりのタイミングだったので、業者さんにも相談をしましたが、気温が下がりすぎてコーキングが付かな

いということで、なんともならないという話でした。なので、雨漏りバケツを置いてというような話にしかならないのですけれども、いずれにせよ、天井板を伝って落ちてくるような状況ではなく、ガラスのところの雨漏りという感じです。

(坂本教育長職務代理人)

校内のどこの場所でしょうか。

(藤原教育部長)

廊下です。教室の入り口の上の方です。

(坂本教育長職務代理人)

子どもたちが日常的に通る廊下ですか。

(藤原教育部長)

全部が全部というわけではないので、今やるとしてもシートをかぶせることしか方法がないのですけれども、先程も言ったように応急措置のコーキングをするにしても付かないので、何かかぶせるしか方法はないかなと思います。

(須田教育長)

幸いなことに来年、実施設計をするということと言質とりましたので、これで必ず来年、もしくは再来年には、本格的な雨漏りの工事に入ることです。これが通らない限りは、100万、120万の修理しかできないわけですが、実施設計ということですので、たぶん何千万の修理になろうかと思っています。

(藤原教育部長)

追加してお話しさせていただければと思うのですが、そういう特別な構造なものですから、コーキングをやった程度ではまたすぐ雨漏りになってしまいます。なので天窓自体を撤去して普通の屋根にするという工事が必要になってきます。かなりの大規模な工事になってきます。それで実施設計という形になりました。それまでの間どうするのかについては、業者さんと相談して一番適当な方法を選んでいきたいと思っています。

(坂本教育長職務代理人)

分かりました。

(須田教育長)

その他ありますか。

－意見、質問なし－

次に報告第26号就学指定校変更の承認についてであります。お願いします。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

報告第26号、就学指定校変更の承認について、先に申請のありました就学指定校変更15件について、仙北市就学指定校変更審査会より別紙のとおり答申がありましたので報告いたします。

－資料により説明－

以上です。よろしくをお願いします。

(須田教育長)

ご質問、ご意見ありますか。

－質問、意見なし－

よろしいでしょうか。

それでは、その他に入ります。

いじめ、不登校対策について、所長をお願いします。

(伊藤北浦教育文化研究所長)

11月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。

最初にいじめについてです。小学校9件、中学校4件、計13件の認知件数の報告があ

りました。

次に12月の不登校児童、生徒についてです。小学生1名、中学生11名、計12名となっております。前月と比べて変わりありませんでした。以上、11月のいじめ、不登校の報告を終わります。

(須田教育長)

いじめ、不登校対策について、何かご意見ご質問等ありますか。

－意見、質問なし－

次に、教育委員会定例会会議録のホームページ公開について、湯澤課長お願いします。

(湯澤教育総務課長)

令和3年第16回仙北市教育委員会定例会会議録をご覧ください。

－資料により説明－

誤字や脱字、お気付きの箇所等ございましたらご連絡くださるようお願いいたします。

(須田教育長)

その他ということで事務局から何かありますか。

(武藤生涯学習課長)

前回の定例会の際に成人式について、ご報告させていただきました。その際に、服装の話がありましたので、改めてお話をいたします。今までの成人式はもちろんですし、入学式や卒業式など、様々な式に出られていると思いますので、改めてという感じになるかと思いますが、基本的には礼服や略礼服も含みますけれども、そこまでかしまった物ではなくて、男性であれば濃いめのスーツに白基調のワイシャツにネクタイという普通のスーツの格好でよろしいかと思えます。女性の坂本委員であれば、今日のような格好でよろしいかと思えます。式に向けてよろしく申し上げます。以上です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

－異議なし－

その他に何かありますか。

(坂本教育長職務代理者)

今日の議案に上がったことではないのですが、質問をよろしいでしょうか。

来年度から、指定管理でなくなる施設がいくつかあると思うのですが、その際に職員の方々はどうのような行き先になるのかということをもし決まっていることがあれば、伺いたいのですが。

(武藤生涯学習課長)

私からは社会教育関係の施設のことになりますけれども、現在2つの社会教育関係の施設で指定管理者制度を活用して施設の管理運営をしています。2つの内、1つが角館交流センターです。もう1つが勤労青少年ホームです。両施設とも現在の指定管理者との契約期間は令和4年3月31日、つまり今年度いっぱいということになっております。来年度以降の両施設の管理運営形態についてですけれども、角館市民センターは市の方針として市直営にすることとしたことから、指定管理者の募集を行いませんでした。勤労青少年ホームについては、来年度からの指定管理者を募集しましたが、応募がなかったことから市直営にすることとしています。結果として、令和4年度からは、両施設ともに直営することとしておりますが、そのやり方についてもう少しお話ししますと、角館交流センターは、来年度から所管機関が生涯学習課ではなく、角館市民センターになる予定です。勤労青少年ホームは、現在と変わらず生涯学習課が所管課になる予定でおります。各施設の受付等対応、要は正職員を置くかどうかということですのでけれども、どちらの施設も正職員を置く予定はなく、角館交流センターについては3人の会計年度職員の募集を、勤労青少年ホ

ームについては2人の会計年度職員の募集を計画しています。募集の計画をしているというよりは、予算要求をしている段階になります。

(坂本教育長職務代理者)

ありがとうございます。

(須田教育長)

その他ということで他にありませんか。

(小松平福記念美術館長)

お手元に現在開催の第44回児童生徒県南美術展の名簿を置かせていただきました。学校の統廃合等があって、出品して下さる学校数も減ってきており、そういったことからこれまで1,000点以上出品して下さっていたのですが、今回1,000点を切ってしまいました。それでまたお声がけしたところ、学校の先生たちから大きな協力をいただいて通常通りに展示することができました。もしお時間あるときに子どもたちの作品を見ていただいて、本当に様々な作品が飾られていて、元気をもらえるような展示になっていますので、来ていただければと思います。よろしく願いいたします。以上です。

(須田教育長)

私も教育長賞を自分で選びましたけれども、1時間以上掛かりました。

(松橋学習資料館・イベント交流館長)

1枚物のチラシで、仙北市の校歌、校章展、これはまだ校正中のものですが、1月5日から企画展ということで開催いたします。普段学校の校長室や会議室に飾られているようなものをお借りしまして、企画展エリアに飾りますので、ぜひご覧いただきたいと思います。統廃合でなくなった学校も仙北市内にいっぱいあるので、全部を展示しているわけではありませんが、とりあえず手近なところで第1弾目ということで、その感触を見て、いづれ続編もあるかもしれませんが、最初のトライアルということで企画しましたので、時間がありましたらぜひ足を運んでいただきたいと思います。以上です。

(須田教育長)

その他ありますか。

—意見なし—

それでは以上をもちまして、令和3年第19回仙北市教育委員会12月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午後2時55分)